

令和3年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立船場図書館
指定管理者	国立大学法人 大阪大学
指定期間	令和3（2021）年5月1日～令和8（2026）年3月31日
施設概要	船場図書館
市支出額	なし

2. 事業の実施状況

図書館サービス業務	資料の貸出・返却・予約・利用者登録等の窓口業務を行った。入館者数：243,896人（箕面市立図書館の中で第1位）、箕面市立図書館利用カードの新規発行数：3,577人分、箕面市立図書館蔵書の貸出冊数：238,610冊
レファレンス業務	5分以内：2,709件、5分以上：287件
蔵書管理業務	利用しやすい書架を維持するため、日常的な書架整理、書架見出しや書架サインの整備に努めた。
図書館情報システム運用管理業務	個人情報の取り扱いに留意した上で、図書館情報システムを適切に運用した。なお、委託業者を含め職員全員が個人情報保護に関する研修を受講し、確認テストを受けた（年1回実施）。
カフェスペース運用管理業務	2021年5月13日に「ALOHA CAFE Pineapple みのお船場店」が開店。図書館の資料をカフェ内で読むことができるなど図書館利用者が快適に利用できるように運用管理している。
施設維持管理業務	施設設備の日常及び定期的な維持管理により施設の安全確保に努めている。利用者エリアガラス壁の衝突防止シール施工・研究個室の空気清浄機設置および最新型の拡大読書器導入を行った。
子ども読書活動の推進	2階にぎやかエリアにある季節の絵本展示を毎月行った。 また、近隣の小学校・支援学校の見学や授業を3件行った。
お話し会事業の実施	コロナ禍のため、開催はできなかったが、ボランティアの方と繋がりを持ち、開催が可能になればスムーズに開催できるよう準備をしている。
インターネットを通じた積極的な情報発信	ホームページを開設し、図書館イベント等のお知らせ、図書館の利用案内、情報や資料の探し方の他、利用者の年齢や目的に合わせた情報発信を行っている。

大阪大学との連携	① 大阪大学の教員・学生が企画した外国文化に触れる子供向けイベントを新型コロナウイルス感染症対策に留意して3件実施した。 ② 大阪大学が船場生涯学習センターで開催した講座に関連する図書の展示を3件実施した。
開館時間の延長（自主事業）	平日は午前9時から午後8時まで開館を行った。
開館日の拡大（自主事業）	月曜日も開館した。
大阪大学蔵書の利用（自主事業）	大阪大学蔵書の市民貸出冊数は2,358冊。
教育研究活動の実施（自主事業）	図書館の業務に支障のない範囲において、大阪大学の教育研究活動を行った。
船場生涯学習センターにおける図書館利用講座（自主事業）	図書館職員による無料の生涯学習講座を、船場生涯学習センターで1件実施した。
繁忙期の自習専用席を船場生涯学習センターに設置（自主事業）	箕面市在住・在学の中学生・高校生向けの自習専用席を3階に設けているが、大阪大学の試験期間中および中学生の夏休み期間については船場生涯学習センターの部屋を使用した。なお、その経費は大阪大学が負担した。
図書展示（自主事業）	市立図書館、大学図書館の蔵書の展示を22件行った。特にノーベル文学賞に関連し、東アフリカや難民・移民に関する市立図書館蔵書から、アフリカ文学に関する大学図書館蔵書から選ぶなど共通するテーマに関してそれぞれの蔵書を活かした展示ができた。

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	設備・運営への満足度（項番5）の各項目で8～9割の方に「満足」「おおむね満足」の回答をいただきました。自由記述欄記載の内容を見ると、施設がきれいであることと子供向けの本が多いという意見が多く見られます。改善点・今後の取り組み（項番7）では、蔵書の充実・設備の改善・職員対応・アクセス改善・環境整備など様々な要望・提言をいただきました。
-------------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	実施対象施設外のため、意見交換会は実施していません。
-------------------	----------------------------

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	意見を整理して、すぐに実施できるものは実施いたします。市立図書館全体の内容に関する部分は中央図書館に伝えます。また、工事を伴う設備やアクセス改善については、中央図書館を通じて市に要望を伝えます。イベント等については、いただいたご意見を参考に工夫してまいります。
------------------	--

4. 収支状況

別紙収支報告書のとおり

5. 指定管理者の自己評価

・5月1日の開館後、緊急事態宣言に伴う大阪府と箕面市の方針により、6月20日まで臨時休館となりましたが、その後は、入館者数・貸出冊数ともに非常に多く、市民の方の関心の高さがあらわれています。

・新築の図書館のため、利用者の「きれい」という声をよく聞き、アンケートの回答にも「施設の外観も内観も清潔に保たれていて」という記述がありましたが、日々の清掃や書架整理作業でこの環境を保つよう心がけております。

・大学図書館職員にとって市立図書館業務を担うのは初めてのことで、開館前には、市立中央図書館・萱野南図書館での業務研修、専門業者による講義・ワークショップ等の研修を重ねました。開館後は、市立図書館の他館と連携しながら、順調に業務を遂行しています。

・大阪大学との連携については、大阪大学外国語学部の教員・学生が企画した子供向けイベントを3件行うことができました。デンマーク、ハンガリー、台湾それぞれの外国文化に触れる催しで、お子さん、保護者の方にも大変好評でした。特にハンガリーのイベントでは、学生が自分たちで日本語に訳したハンガリー語絵本を子どもたちに読み聞かせるなど、大学の教育活動の成果を地域に伝えることができました。

・今後も市立図書館として、市民の方の情報ニーズに答えられるよう管理運営を行っていきます。同時に、この船場図書館が、多言語・多文化に触れる場、大阪大学の学術情報に触れる場、大阪大学の教員・学生が社会と連携して活動する場として機能するよう、多言語・多文化に関する資料の整備や提供、イベントや展示などを行っていきます。